

## 合言葉は「触れる」、「知る」、「創る」！

子どもが実際に体験したことを通して自己を成長させていく生活科、自ら設定した課題を自ら考えた方法で解決していく総合的学習の理念や構造を学びます。子どもたちは、実際に「触れる」ことを通して、人・自然・社会のこと、そして自分自身とそれらとのつながりを「知る」ことができます。その経験を基に、自分や他者・自然・社会の未来を「創る」ようになります。本専修では、そのような子どもの生活経験を見取り、伸ばしていく教員の資質・能力を養成しています。

詳細はコチラ



### 〔 4年間の学び 〕

- 1年次では、理論・実践の両面から生活科や総合的な学習の時間の授業イメージを具体的にもつことを重視します。また、学習者目線で「思いや願いの実現過程」や「探究的な課題解決の過程」を体感し、その学びの重要性を実感したり、授業計画を立てるための基礎的な知識・技能を身に付けたりします。
- 2年次では、単元構想をしたり、それに基づいて実践を行ったりする経験によって生じる各自の課題について、授業観察を通して探究します。また、カリキュラム理論を学ぶ中で授業実践をより広い視野の中で捉え直します。
- 3年次では、これまでの経験を踏まえ、教材の在り方について理解を図るとともに、教材研究の方法を身に付けます。
- 4年次では、各自の問題意識に基づき研究テーマを設定して考究していき、生活科・総合的な学習の時間の専門家としての力量を形成していきます。

### 取得できる免許

- 【卒業要件に含める免許状】  
小学校教諭一種免許状
- 【取得を優先して薦める免許状】  
中学校教諭二種免許状<sup>(※)</sup>
- ◎特別支援学校教諭二種免許状
- 【所定の科目履修で取得可能とする免許状】  
中学校教諭一種免許状  
(中学校二種の教科)
- ◎幼稚園教諭二種免許状

※入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。  
◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。



小学生と大学探検



おもちゃ博士としての出張授業



模擬授業に向けての話し合い

## 先輩 Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 生活・総合専修3年  
愛知県立豊田北高等学校出身



### 生活科・総合的な学習を 専門に学べることを活かし、 子どもの豊かな人生を支えたい

日本で唯一生活科・総合的な学習の時間を専門に学べることは最大の魅力です。1年生から近くの小学校の授業に参加するなど、実際に子どもとかかわる機会が多く、体験的な活動を通して深く学ぶことができます。少人数の専修なので、仲間や先生方と一丸となってプロジェクトに取り組むことができるのも大きな特徴です。私は特に、地域教材を活用した生活科・総合的な学習の時間に関心があり、子どもの学びが教室にとどまらず、学区の山や川、地域の人々と関わりながら成長できる授業づくりを目指したいと思っています。

### ■ 私の時間割 (2年生後期)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等国語科 教育法A		学校体験活動Ⅰ	中等社会科 教育内容CⅠ	学校教育における ICT活用
2時限	初等英語科 教育法A	生活科 カリキュラム論	学校体験活動Ⅰ		
3時限		生活科・総合的 学習授業論	この時間を使って 「学校体験活動Ⅰ」 の事後指導や ガイダンスを行う ことがあります。		
4時限		道德教育の 理論と方法			社会学概論
5時限					

\*上記時間割で示した授業科目以外に遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「情報の活用と管理」「学校保健・学校安全」があります。